

ヒレフリカラムツの新産地

著者	千々布 義朗
著者別表示	Chichibu Yoshiro
雑誌名	植物地理・分類研究
巻	41
号	2
ページ	61-62
発行年	1993-12-25
URL	http://doi.org/10.24517/00055673



- 670-675.
- EHLERINGER, P.J. 1984. Ecology and eco-physiology of leaf pubescence in North American desert plants. In: RODRÍGUEZ, E., HEALY, P.L. and MEHTA, I. (Eds). *Biology and Chemistry of Plant Trichomes*, pp. 113-132. Plenum Press, New York.
- EHLERINGER, P.J. and BJORKMAN, O. 1978. Pubescence and leaf spectral characteristics in a desert shrub, *Encelia farinosa*. *Oecologia* 36: 151-162.
- EHLERINGER, P.J., BJORKMAN, O. and MOONEY, H.A. 1976. Leaf pubescence: effects on absorptance and photosynthesis in a desert shrub. *Science* 192: 376-377.
- IHARA, K. 1976. Mode of local differentiation in *Arabis lyrata* and *A. gemnifera* (Cruciferae) in Japan. *J. Fac. Sc. Univ. Tokyo* 12: 1-36.
- JOHNSON, H.B. 1975. Plant pubescence: an ecological perspective. *Bot. Rev.* 41: 233-258.
- KELSEY, R.G., REYNOLDS, G.W. and RODRÍGUEZ, E. 1984. The chemistry of biologically active constituents secreted and stored in plant glandular trichomes. In: RODRÍGUEZ, E., HEALEY, P.L. and MEHTA, I. (Eds). *Biology and Chemistry of Plant Trichomes*, pp. 187-241. Plenum Press, New York.
- LEVIN, D.A. 1973. The role of trichomes in plant defense. *Quart. Rev. Biol.* 48: 3-15.
- OHWI, S. 1965. *Flora of Japan*. Smithsonian Institution, Washington, D.C.
- OYAMA, K. 1991. Differentiation among populations of *Arabis serrata* (Cruciferae). Ph.D. Thesis. Kyoto University, Japan.
- OYAMA, K. 1993. Geographic differentiation among populations of *Arabis serrata* Fr. & Sav. (Brassicaceae). *J. Plant Res.* 106: 15-24.
- RODRÍGUEZ, E. 1983. Cytotoxic and insecticide chemicals of desert plants. In: HEDIN, P. (Ed.) *Plant Resistance to Insects*, pp. 291-302. American Chemical Society, Washington.
- ZAR, J.H. 1974. *Biostatistical Analysis*. Prentice Hall, Inc. Englewood Cliffs, NJ.

摘 要

日本の富山県の海岸に自生する *Arabis stelleri* var. *japonica* (ハマハタザオ) の集団について、葉毛の変異性を研究した。海岸地帯(5 コドラート)、海岸に続く松林を含む地帯(3)、海岸と松林の中間地帯(3)の3地帯に任意に位置した11コドラート(各1 m²)について研究した。葉毛を有する植物(H)と有さない植物(NH)の比率はこれらの3自生地間および自生地内において異なっていた。海岸地帯と推移地帯とは平均して3:1(NH:H)の比率を示した。松林地帯での葉毛を有する個体の数はきわめて少なかった。葉毛を有する植物と有さない植物は測定されたほとんどの形態学および生殖的特性について相違がなかった。空間的分布のパターンはコドラート間で異なっていた。葉毛を有する植物・有さない植物は集合分布を示すかあるいはランダムな分布を示した。温室に移植した植物について葉毛の存在は不変なので、この特性は遺伝的に決定されていると考えられる。葉毛の多形現象はハマハタザオについて初めて示され、この変異性の結果を明らかにするため生理学的研究が示される必要がある。

(received January 25, 1993; accepted June 22, 1993)

○千々布義朗*: ヒレフリカラムツの新産地 Yoshiro CHICHIBU*: Occurrence of *Thalictrum toyamae* HATUS. et OHWI in Nishisonogi Peninsula, Nagasaki Prefecture

1992年5月10日、これまで佐賀県黒髪山の特産(清水, 1982)とされていたヒレフリカラムツが長崎県西彼杵郡西海町七釜郷(標本: 千々布義朗 Apr. 17, 1993. KANA162265)にも生育しているのを確認した。

長崎県西彼杵半島北西部には石灰質砂岩からなる岩山が各地で見られる。ヒレフリカラムツはこの一角、近接する数個の岩山の壁面に群生している。生育地は標高50 m前後で、周囲に樹林、もしくは近接する岩山があるため陽光が当たりにくく、陰地ないし半陰地となっている。付近にはイワガサ、コバノチョウセンエノキ、キハギ、カノコユリ、それにこれも今回が長崎県内では初めての確認となったシロバナハンショウヅルなどが見られる。

標本用に採集したなかの6個体を計測したところ、茎の全長は18~30 cmで、これまで知られている佐賀県黒髪山産の茎は10~20 cm(清水, 1982)であるから、これよりやや大型であった。また、黒髪山産のものは花期が6月(清水, 1982)となっているのに対し、西彼杵半島産のものは1992, 1993年の観察結果によると4月上旬~5月上旬であった。特に1993年4月17日、生育地を訪れたときは花の盛りであった。



FIG. 1. ヒレフリカラムツの生育状況 (1993.4.17, 西彼杵郡西海町七釜郷)

標本の同定は金沢大学理学部の清水建美教授にお願いしたし、本稿を著すにあたり長崎大学教養部の伊藤秀三教授には多くの貴重なアドバイスをいただいた。両氏に厚くお礼を申し上げたい。

引用文献

清水建美, 1982. 佐竹義輔他(編), 日本の野生植物, 草本II, p.85. 平凡社, 東京.
(*〒 852 長崎市若草町 5-23 Wakakusamachi 5-23 Nagasaki 852, Japan)



FIG. 2. ヒレフリカラムツ (1993.4.17, 西彼杵郡西海町七釜郷)

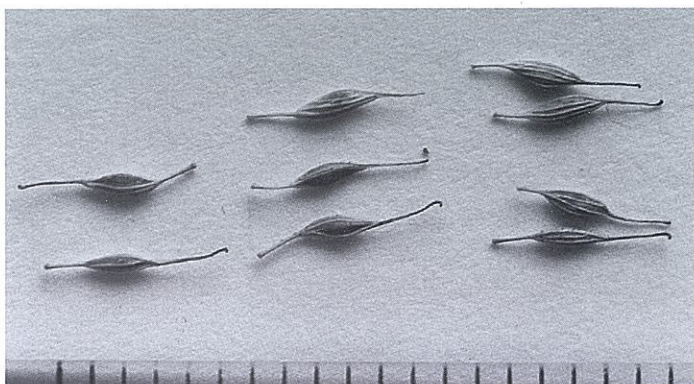


FIG. 3. ヒレフリカラムツの瘦果 (1993.6.20 採取分, 1 目盛 1 mm)